

のんびりゆったり
安曇野ぶらぶら
ガイドウォーク



あづみの あるく路

NO.2

安曇野わさびを育む 湧水の里を訪ねる

～本陣等々力家と清らかな水の流れ～

千国街道保高宿から見て東側に位置する等々力地区。穂高駅からのんびり歩いて20分ほどで、集落の中心にある本陣等々力家に到着します。屋敷を構えた等々力氏は、江戸時代に庄屋を務めた家柄。古代よりこの地に定住して中世には在郷武士として戦にも出陣していたようで、備えとしての等々力城を現在の屋敷からほど近い場所に築いていました。

等々力地区は複合扇状地となっている安曇野の中では標高の低い扇端部に位置するため、地面を掘り下げればこんこんと水が湧き出す恵まれた地形なのです。その冷たく清らかな水を利用したわさび栽培やニジマスの養殖などが盛んです。わさび田や稲田の広がる背景には北アルプスを望むことができ、安曇野らしい風景の中を、ゆったり気分ウォーキングできるエリアとなっています。

※平成26年度・長野県地域発元気づくり支援金を受けて作成されました。
※この地図は「安曇野あるく路」の資料として作成されました。
散策の際は歩きやすい服装を心がけ、車などの往来に十分注意し、各自で責任を持って行動してください。
また住宅敷地内などプライベートな空間への立ち入りは、慎んでください。

編集・発行 安曇野案内人倶楽部

〒399-8303 長野県安曇野市穂高5971-1(クラフトショップ安曇野内)
TEL: 0263-88-5563 FAX: 0263-88-5565
URL: <http://azumino-guide.com> E-mail: info@azumino-guide.com



H 水草が揺れる湧水路



G 集落外れの森の中を散策



F わさびの露地栽培



E 小粒な道祖神文字碑



D 水路脇の親水スペース



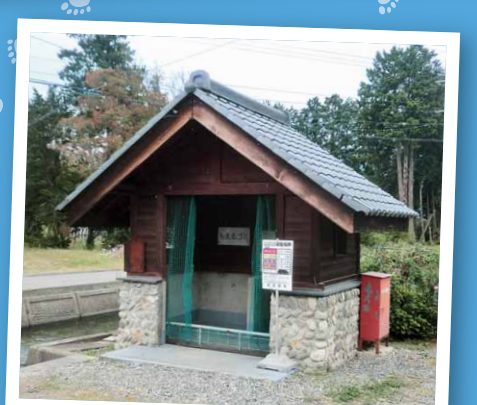
I 道標 大正13年(1924)設置



A 本陣等々力家前、寒冷紗に守られるわさび田



B 盛夏の田園風景と北アルプス



C 景観に配慮したデザインのゴミステーション

のんびりゆったり
安曇野ぶらぶら
ガイドウォーク

安曇野
あつみの
あるく路
NO.2

**安曇野わさびを育む
湧水の里を訪ねる**
～本陣等々力家と清らかな水の流れ～

1 本陣等々力家 ※入場料：大人300円



江戸時代、庄屋を務めていた等々力氏の屋敷。本陣といっても参勤交代などの大名宿泊所という意味ではなく、かつてこの付近が松本藩主の鮭や鴨の狩猟場であり、その際に藩主の休息所として利用されていたことから名付けられたものです。長屋門は江戸中期の作とされ、市の有形文化財指定。庭園も同じく江戸中期の作ですが桃山期の流れをくむ様式とされ、殿様座敷など四部屋続きの主屋から市天然記念物のビャクシンをはじめ素晴らしい庭の様子を鑑賞できます。



● 太鼓橋

この屋敷は平成23年(2011)放送のNHK連続テレビ小説「おひさま」のロケに使用され、主屋と土蔵を繋ぐ太鼓橋がドラマのワンシーンで登場しました。



● 長屋門入口柱の刀傷

長屋門の外から向かって左側の柱に、江戸後期に発生した一揆の際につけられたという刀傷が残されています。



2 集落内のわさび田



等々力地区の東エリアは家々の合間にもわさび田が作られています。わさび田は通常の地面より深く掘り下げられた土地に畝を作って苗を植えつけ、湧水を利用して育てています。近年は様々な事情からハウス栽培(右の写真)も盛んに行われています。

3 養魚場



湧水エリアでは清涼な水を利用したニジマスなどの養殖も盛んで、等々力地区でも養魚場で泳ぐ魚たちの姿を目にすることができます。

4 早春賦歌碑とわさび田



♪春は名のみの風の寒さや♪ ではじまる唱歌「早春賦」は、吉丸一昌作詞、中田章作曲で大正2年(1913)に発表。春を代表する曲として長年歌い継がれ、近年では日本の歌百選に選ばれるなど、全国で親しまれています。安曇野・大町地方の早春の情景を歌ったものといわれ、この穂高川堤防のほか、大町市にも歌碑が建てられました。



道祖神とさまざまな石碑



安曇野の代名詞的存在でもある道祖神は、集落入口などにあります。村外から疫病神が立ち入ってこないよう塞ぐ「塞の神」の役割のほか、子孫繁栄・縁結びや無病息災・五穀豊穡など様々な願いや祈りが込められていて、その数は安曇野全域で500体とも600体ともいわれています。文字碑も多いですが、浮き彫りの像の場合、通常は男女神の双体像です。二神が手を握り合う「握手像」、酒器を手にする酒器像(祝言像)、両手を合わせた合掌像など、そのデザインはさまざま。像の回りも神殿や松竹梅、菊花弁などが彫られていたり、なかには鮮やかに彩色されたものもあります。

道祖神以外にも二十三夜塔・庚申塔(青面金剛像)・大黒天・馬頭観音など、さまざまな祈りが込められた石仏・石碑が建立されており、それらの道祖神と並び建つ様子を、どの集落でも見かけることができます。(上の画像は等々力地区内に点在する道祖神や石碑です。)

● 穂高川堤防沿いのわさび田

堤防に平行するように作られたわさび田では、散策路を利用してわさびの様子を間近に見ることができます。天気の良い日は安曇野のランドマークともいえる常念岳を背景に望むことができ、人気の撮影ポイントとなっています。またこの散策路のあるワサビ田は平成23年(2011)に皇太子殿下が安曇野へお越しになられた際、わさび田の様子を見学された場所でもあります。(写真は3月頃の風景)

安曇野わさび田湧水群

安曇野の大地の特徴は、北アルプスから流れ出る複数の沢によって形成された複合扇状地であること。その扇頂部(扇状地の頂点)で地中に浸透した水が伏流水となり、扇端部(扇状地の標高が低い地域)で湧水として地表に再び出現します。日量約70万tともいわれる豊富な湧水は、年間を通して水温が一定で13℃前後。わさび栽培の適温は12～15℃といわれており、水量の豊富なことと併せて安曇野の湧水は、まさにわさび栽培にとって最適の環境を作り出しているのです。本コースで巡る等々力地区ほか穂高・豊科地域の湧水エリアは、「安曇野わさび田湧水群」の名称で昭和60年(1985)に環境庁(現・環境省)の名水百選に、平成7年(1995)には国土庁(現・国土交通省)の水の郷百選に選ばれ、新聞の読者アンケート(※)でも人気1位を獲得するなど、その清涼なイメージと口に含んだときの優しい味わいが、安曇野を訪れる人々にとって癒しの存在となっています。(※平成19年5月22日、朝日新聞夕刊紙上にて発表)



5 等々力城址



戦国時代に築かれた砦跡で、築城年は不明ですがこの地一帯を領した等々力氏が築いたものといわれています。現在は城郭を明確に示す構造物はこれといっておりません。周囲を水路が巡る虎口と思しき小高い丘の上に祀られた不動明王像と、そこに並び立つ標柱がそれと示すのみです。西側の眺望が開けているため、天気の良い日は常念岳を正面に望めるビューポイントとなっています。

6 道祖神・二十三夜塔



集落の辻に立つ双体像の道祖神は文政2年(1819)建立。隣の二十三夜塔は文政6年(1823)の建立です。



7 吉祥山東光寺



本陣等々力家の斜め向かいにある、巨大な鉄下駄で有名な曹洞宗の寺。この鉄下駄は仁王様の下駄と呼ばれ、山門の仁王に手を合わせて一礼してから願いを込めて鉄下駄を履くと諸願成就するとのこと、観光で訪れた人に人気です。



最寄り駅：JR大糸線穂高駅

駅から本コース集合場所の本陣等々力家前までは1.2km・徒歩約20分の距離です。